

## 【別紙様式2】

# 運動する楽しさや喜びを味わい、進んで運動に 取り組む西っ子の育成～「つながり」を大切に取組を通して～

伊佐市立羽月西小学校			
全校児童(生徒)数	17名(男子10名 女子7名)		
全クラス数	5	教職員数	9
運動部活動数		運動部活動参加率	

## 取組時の課題と目的

### 1 取組時の課題

- (1) 新体力テストより巧緻性、柔軟性、筋力に、保護者アンケートより家庭・地域での積極的な運動の取組に課題を捉えた。
- (2) 単元の指導計画、一単位時間の指導過程の作成の仕方について共通理解を図っておらず、新学習指導要領の目標達成や3つの資質・能力の育成を踏まえた指導の在り方等について研究を深め、実践していく必要がある。

### 2 取組の目的

- (1) 授業の指導過程や指導方法、授業外において子供たちを運動に関わらせる手立て等を研究・実践し、子供たちに運動の楽しさや喜びを味わわせること。
- (2) 学校・家庭・地域が連携し、主体的に運動に取り組む子供を育成すること。

## 取組の内容

### 1 授業改善によるアプローチ

#### (1) 単元の指導計画の作成

子供が課題意識や関心をもって運動に取り組み、達成感や肯定感を味わうことをねらった計画を策定した。計画の策定に当たっては、「①明確な実態把握」→「②実態を基に具体的な活動設定」→「③評価の在り方を考える」の過程を基本とし策定した。

#### (2) 一単位時間の指導過程の作成

運動量を確保しつつ、「体育科の見方・考え方」を働かせ「3つの資質・能力」を育成するための指導過程とポイントを具体化し、共通理解・共通実践を行った。

指導過程	共通実践項目
① きらきらタイム	授業導入時、主運動につながる基礎的な運動を取り入れる。指導者は既習の知識・技能を価値付ける声掛けを行う。
② めあての確認	ICTを活用して本時の課題に迫り、問題解決的なめあてを設定する。
③ 挑戦Ⅰと挑戦Ⅱ	めあて解決に向けた挑戦Ⅰ(試しの活動)と、挑戦Ⅱ(ポイントを明確にした上での活動)の時間を設定する。
④ 話合い	子供が主体となって課題解決を図れるよう、挑戦Ⅰと挑戦Ⅱの間に「話合い」の時間を設定する。
⑤ 振り返り	成果の共有、次時の課題確認をする時間を設定し、次時の学習への意欲につなげることを意識する。

### 2 授業外の実践によるアプローチ

#### (1) 体力向上プログラムの作成

学校が計画的かつ組織的に子供の体力向上に関わ

り、子供が主体的に運動に関わることができるように、年間を見通した計画を立て実践に取り組んだ。

#### (2) 一校一運動の取組

授業だけでなく始業前の自主的な取組など、年間を通して親しんでいる。自主的な活動につながるよう「縄跳びカード」を準備したり、運動会等で保護者や地域の方々に見てもらったりするなど工夫している。

### 3 家庭や地域との連携によるアプローチ

#### (1) 体育的行事への保護者の参加

家庭との課題共有や運動意識の高揚をねらい、親子で取り組む体幹トレーニングや保護者参加の新体力テストを実施した。

#### (2) 学校応援団の活用

小規模校において、ボール運動領域におけるチーム編成する際の人数的な課題を解決するために、学校応援団を積極的に活用した。

### ●工夫したこと

- ① 子供たちの運動意欲を喚起するために、専門的な知識をもつ経験豊かな地域人材を、積極的に活用するようになった。
- ② 「体幹トレーニング」や「体力アップ!チャレンジかごしま」など、普段子供たちが学校で取り組んでいる内容を、長期休業中の家庭での運動や日常の親子運動として活用するようになった。

### 取組の成果

- ① 運動する楽しさや喜びを感じる子供が増え、体育の授業が楽しいと感じる子供が増えた。

体育の授業について(単位:%)					
		楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
県	R3	62.9	29.1	6.2	1.9
本校	R3	92.9	7.1	0	0
	R2	78.9	21.1	0	0

- ② 子供の体力向上には運動習慣の育成が大切であるという、保護者の課題意識が高まってきた。

### 今後の課題

- ① 複式学級の指導においては、知識や技能の確実な習得のために、現学年で指導した内容を蓄積し、その情報を次学年に引き継ぐなど“つながり”を意識した指導が重要である。
- ② 家庭における運動習慣の二極化を解決していくために、運動意欲を刺激する効果的な情報や実践例の発信、各家庭に寄り添ったアプローチを模索するなど、“つながり”を切らさぬようにしていくことが大切である。

## 研究の実際

### 1 授業改善によるアプローチ



主運動につなげる  
さらさらタイム



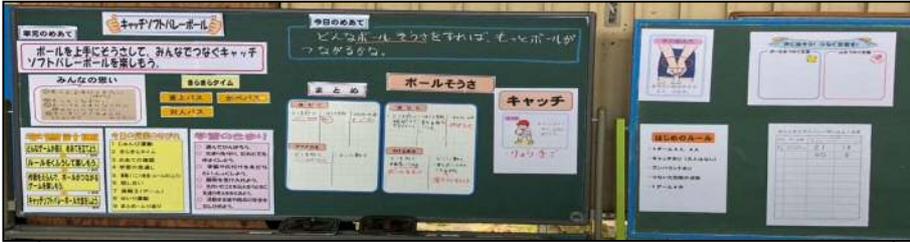
ICT 機器を活用した  
導入（課題設定）



互いの思いを  
つなぐ話し合い



成果や課題を  
つないで振り返り



課題解決に向かう思考を広げ、次時につなぐための構造化された板書



振り返りタイムカード

### 2 授業外の取組によるアプローチ



達成感の獲得と運動意欲の向上  
をねらう一校一運動(縄跳び)

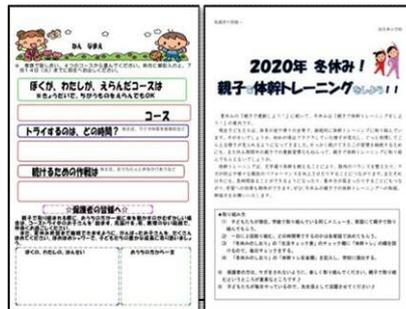


5年間取り組んでいる  
KOBAS式体幹トレーニング



一人一人の課題等に応じた  
運動例を紹介するコーナー

### 3 家庭や地域との連携によるアプローチ



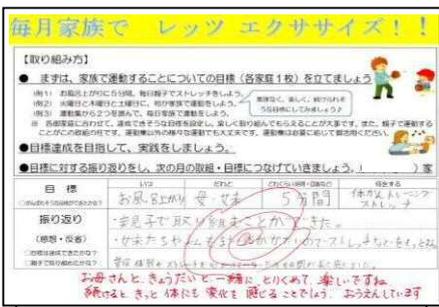
長期休業中の運動推進  
を図る案内パンフレット



保護者の運動意識を高める取組  
〔親子で体幹トレーニング〕



保護者の運動意識を高める取組  
〔親子で新体カテスト〕



家庭での運動推進を図る取組  
〔毎月1回すこやかチェックウィーク〕



子供の運動意欲を高める取組  
〔学校応援団の活用〕



子供の運動意欲と技能向上をねらう取組  
〔地域人材の活用：カヌー教室〕